

ご挨拶

第32代校長 山崎 尚史

本校は明治4年5月、協心神習学舎として開校し、創立153年目となる市内で最も長い歴史がある学校です。調布の里の豊かな自然に恵まれ、あたたかい地域の皆様に支えられています。令和6年4月1日現在で、児童数は487名です。また、情緒の特別支援学級（さくら組 平成22年4月開級）が設置されていることも大きな特徴です。

現在の校舎は平成25年6月に完成し、鉄筋2階建ての教室棟3棟と鉄筋3階建ての特別教室や職員室からなる中央棟でできています。校舎改築に伴い、平成25年度2学期より、青梅市で唯一の「自校給食」（学校にある調理室で給食をつくる）実施校です。（他校は給食センターでつくり、配送しています。）

第二小学校の校舎には、吉野街道から見える「校訓 独立自尊」の言葉が掲げられ、一際目立っています。これは福澤諭吉の言葉で「心身の独立を全うし自から其身を尊重して人たるの品位を辱めざるもの、之を独立自尊の人と云う」（「修身要領」）と説明されています。このままだと分かりづらいですが、意味は「自分や他の人の尊厳を守り、自分で判断し、自分の責任のものに行う※」ということです。（※参考 慶応義塾大学ホームページ）古い言葉ですが、変化が大きく先の見通しがもちづらいこれからの社会を担う子供たちに必要な力を示している極めて新しい言葉であると言えます。



学校には子供たちの、保護者の、地域の方々の大きな期待が寄せられています。第二小学校には、これらの期待に応えられる歴史と伝統、子供たちを支える方々の大きな協力があります。教育の本質をしっかりと見つめ、新しい時代に対応できる子供たちの力を6年間で身に付けられる学校を目指します。

「幸せな学校をみんなで作ろう」を合言葉として一人一人が主体者として学び、成長することができるよう、「みんな」で協力し合って毎日を積み上げていきます。

令和6年4月1日